

意思を強く持っていました。 先生とはとことん長く付き合いま す」と話す哲さん。幼少期から自分の

そのために前に進む 叶えたい夢がある

スでコンピューターに関する研究を 学校の創造工学科情報システムコー していて、地元に就職を考えている 哲さんは現在、有明工業高等専門

とのこと。自分の中には秘めた夢が

の夢に向かって歩みを進めます。 式を迎えた哲さんは、これから自身 の気持ちを話してくれました。成人 けると思いますが、よろしくお願い れてありがとう。まだまだ迷惑をか おかげです。産んでくれて、育ててく 私がここに存在しているのは両親の くさんのことに感謝しています。今、 かけをくれたことなど、両親にはた に支えてくれたこと、成長するきっ てくれたことや落ち込んだ時は親身 します」と最後に両親に対して感謝

持った人間でありたいです。そのた 私に「今」があるのは 進もうとしています。夢について話 あり「夢を叶えるという志を常に さも感じられました。 て、幼少期から変わらない意思の強 と、夢を叶えるために計画的に前に めにも、今は夢に近づけるように就 す哲さんの目はキラキラ輝いてい 職してお金を貯めていきたいです」

母からのメッセージ

両親のおかげ

「これまで私のためを思って叱っ

学生から社会人になるとこれまでの生活と一変して、学生 生活では味わったことのない辛いことや厳しいこともあり ます。世間の荒波にもまれながら、しっかりとたくましく生 きていってほしいです。



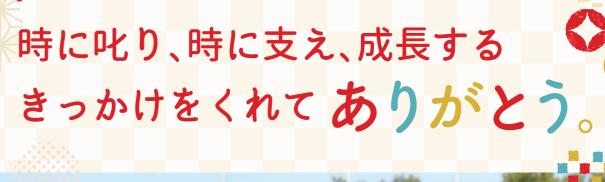
行<mark>に行きました。</mark>



候補して活躍しました。









強い意思を持っていた

幼少期は二つ年上のお姉さんと両親 を忘れます。今でもスケッチブック そうです。母の浩子さんは当時の写 旺盛で黙って親から離れてしまうの の家族4人でよくレジャー施設に遊 は運動会の応援旗を描く大役に抜 た洋服を着せて出かけていました」 るので見つけやすいように色の付い 真を見返しながら「いつも迷子にな で、いつも家族に心配をかけていた びに行っていたそうですが、好奇心 に絵を描いています」と話す哲さん。 ことを始めるとすごく集中して時間 摧されるほどの腕前でした。「好きな 絵を描くことが好きで小・中学校で 式を迎えた。哲さんは、小さな頃から

我が道をいく性格で一人でいること 譲っていたそうです。自身を「内面は 配る性格で周りの子に遊具などを も好きですが、仲のいい友達や好きな 幼少期の哲さんは、優しくて気を

と懐かしそうに話していました。





夢に向かって 一歩ずつ前進 していきます!